



## 2021年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月13日

上場会社名 株式会社アイケイ

上場取引所 東名

コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

四半期報告書提出予定日 2021年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年6月1日～2021年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	16,415	18.4	822	109.2	824	109.1	422	73.1
2020年5月期第3四半期	13,864	3.3	393	43.3	394	39.6	244	41.0

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 418百万円 (68.9%) 2020年5月期第3四半期 247百万円 (42.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	56.79	56.36
2020年5月期第3四半期	33.03	32.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第3四半期	7,940	3,657	45.9
2020年5月期	7,369	2,809	38.0

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 3,643百万円 2020年5月期 2,797百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		0.00		12.00	12.00
2021年5月期		0.00			
2021年5月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	12.0	822	39.3	824	32.3	422	9.9	55.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年5月期3Q	8,308,000 株	2020年5月期	7,808,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年5月期3Q	467,576 株	2020年5月期	549,100 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年5月期3Q	7,441,829 株	2020年5月期3Q	7,393,124 株
------------	-------------	------------	-------------

2020年11月16日開催の取締役会において、新株500,000株の発行及び自己株式75,000株の処分を決議し、2020年12月3日付けで新株を500,000株発行いたし、2020年12月25日付けで自己株式75,000株を第三者割当により処分いたしました。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は経営環境の変化により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第1波のあと、政府による消費喚起事業により景気回復の兆しが見えたものの、感染再拡大による第2波、第3波と感染拡大の波が現れる中、新年早々から1都2府7県において政府による緊急事態宣言が再度発出され、社会経済活動の制限や外出の自粛要請などの感染拡大の防止策が継続されましたことから、個人消費の落ち込みなどにより企業業績や雇用環境は悪化し、未だ先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第3四半期連結累計期間の売上状況は、BtoC事業では、TVショッピングにおいて「スピードヒート温熱ベスト」、「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」、「エアークッション(自動で膨らむベッド)」等が見込みを上回る売上で推移いたしました。また、SKINFOOD店舗では「アミュプラザみやぎ店(FC店)」を開設いたしました一方、新型コロナウイルス感染症の影響により収益力が悪化いたしました「東京ドームラクーア店(直営店)」、「名古屋パルコ店(直営店)」、「錦糸町パルコ店(直営店)」、「大丸札幌店(FC店)」を閉鎖いたしましたことから、その店舗数は直営店19店舗(前年同四半期22店舗)、フランチャイズ店3店舗(前年同四半期2店舗)の合計22店舗(前年同四半期24店舗)となりました。

BtoBtoC事業では、マーケティングメーカーとして確固たる基盤を築くため、自社開発商品の開発に注力してまいりました。売上面では、新型コロナウイルス感染症の感染不安が続く中、自宅に居ながら安心・安全な商品を購入することができる生活協同組合での買い物が支持される中、当社においても生協ルートでの食品類の売上が予定を大きく上回りました一方で、店舗ルートへの売上は、お客様の外出自粛などの影響により前第3四半期連結累計期間と比較して減収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高16,415百万円(前年同四半期比18.4%増)、営業利益822百万円(前年同四半期比109.2%増)、経常利益824百万円(前年同四半期比109.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益422百万円(前年同四半期比73.1%増)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

#### < BtoC事業 >

売上高は、「SKINFOOD」店舗において外出自粛による来店客減少に伴う売上高の減少がありましたものの、TVショッピングにおいて2020年新作の「スピードヒート温熱ベスト」がヒット商品となるほか、「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」、「エアークッション(自動で膨らむベッド)」等が堅調に推移いたしましたことから7,100百万円(前年同四半期比37.4%増)となり、営業利益は531百万円(前年同四半期比86.3%増)となりました。

#### < BtoBtoC事業 >

売上高は、食品類が大きく増収しました生協ルート、通販ルートが前第3四半期連結累計期間と比較し増収となりましたことから9,015百万円(前年同四半期比6.0%増)となり、営業利益は229百万円(前年同四半期比188.6%増)となりました。

#### < その他 >

売上高は、WEBでお問い合わせができるチャットシステム「M-Talk」が計画を上回る実績で推移しておりますことから298百万円(前年同四半期比54.9%増)となり、営業利益は38百万円(前年同四半期は10百万円の営業損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ641百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が428百万円、「商品及び製品」が235百万円、それぞれ増加したことと、「受取手形及び売掛金」が122百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ70百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、「投資その他の資産」が58百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は7,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ571百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ96百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「短期借入金」が240百万円増加したこと、「1年内返済予定の長期借入金」が131百万円減少したことによります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ372百万円減少しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が383百万円減少したことによります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は4,283百万円となり、前連結会計年度末に比べ276百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ847百万円増加しました。

主な純資産の変動は、新株発行により「資本金」及び「資本剰余金」がそれぞれ219百万円増加したこと並びに、四半期純利益の計上により「利益剰余金」が335百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年4月13日付の当社「(開示事項の経過)特別損失の計上に関するお知らせ及び通期連結業績予想の修正について」をご参照ください。なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	670,610	1,098,735
受取手形及び売掛金	3,176,295	3,053,526
有価証券	132,270	161,002
商品及び製品	1,835,551	2,070,793
原材料及び貯蔵品	16,836	18,024
その他	438,631	509,956
貸倒引当金	△1,269	△1,568
流動資産合計	6,268,927	6,910,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	177,134	155,706
土地	80,216	80,216
その他(純額)	123,185	138,530
有形固定資産合計	380,536	374,453
無形固定資産		
のれん	55,000	46,000
その他	108,722	111,850
無形固定資産合計	163,722	157,850
投資その他の資産		
その他	568,134	508,021
貸倒引当金	△12,123	△10,571
投資その他の資産合計	556,011	497,450
固定資産合計	1,100,271	1,029,754
資産合計	7,369,198	7,940,225
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,154,701	1,072,130
短期借入金	40,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	769,960	638,177
未払金	632,635	601,315
未払法人税等	167,543	179,121
賞与引当金	43,465	41,353
返品調整引当金	26,833	70,446
課徴金引当金	—	47,263
顧客補償等対応費用引当金	—	50,725
その他	247,332	198,216
流動負債合計	3,082,472	3,178,748
固定負債		
長期借入金	1,175,519	791,883
退職給付に係る負債	124,750	137,828
その他	176,825	174,597
固定負債合計	1,477,094	1,104,309
負債合計	4,559,566	4,283,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	620,949
資本剰余金	409,800	674,845
利益剰余金	2,166,201	2,501,722
自己株式	△184,275	△156,964
株主資本合計	2,793,476	3,640,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,127	3,300
為替換算調整勘定	△1,468	△618
その他の包括利益累計額合計	3,659	2,682
新株予約権	4,849	9,699
非支配株主持分	7,645	4,233
純資産合計	2,809,631	3,657,166
負債純資産合計	7,369,198	7,940,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
売上高	13,864,217	16,415,017
売上原価	7,177,646	7,864,135
売上総利益	6,686,571	8,550,882
販売費及び一般管理費	6,293,212	7,727,929
営業利益	393,358	822,953
営業外収益		
受取利息	2,000	1,103
受取手数料	1,970	832
投資有価証券売却益	—	2,200
助成金収入	—	7,953
その他	4,528	3,235
営業外収益合計	8,499	15,324
営業外費用		
支払利息	6,092	6,172
為替差損	1,474	174
株式交付費	—	6,683
その他	5	940
営業外費用合計	7,572	13,971
経常利益	394,286	824,306
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	711	—
特別利益合計	711	—
特別損失		
固定資産除却損	9,217	7,983
減損損失	10,689	21,879
課徴金引当金繰入額	—	47,263
顧客補償等対応費用引当金繰入額	—	50,725
特別損失合計	19,906	127,852
税金等調整前四半期純利益	375,091	696,454
法人税等	130,864	277,523
四半期純利益	244,226	418,930
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△3,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,209	422,627



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	244,226	418,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,640	△1,827
為替換算調整勘定	△174	1,134
その他の包括利益合計	3,465	△693
四半期包括利益	247,692	418,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,733	421,649
非支配株主に係る四半期包括利益	△41	△3,412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月16日開催の取締役会決議により、2020年12月3日付けで新株式500,000株を発行いたしましたことから、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ219,200千円増加しております。

また、当社は、2020年11月16日開催の取締役会決議により、第三者割当（オーバーアロットメントによる売り出しに関連した自己株式の処分）による自己株式75,000株の処分を行なったことから、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が40,582千円増加し、自己株式が25,177千円減少しております。

これらを主な要因として、当第3四半期会計期間末の資本金は620,949千円、資本剰余金は674,845千円、自己株式は156,964千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、会計上の見積もりについての新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くとの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。